

令和4年第10回加西市教育委員会会議録

- 1 開会日時 令和4年10月24日(月) 14時03分
- 2 閉会日時 同日 15時12分
- 3 開催場所 市民会館 4F入札室大
- 4 出席者 教 育 長 民 輪 惠
委 員 沼 澤 郁 美
委 員 楠 田 初 美
委 員 中 川 和 之
委 員 深 田 英 世

- 5 上記出席者及び傍聴人を除き、会議に出席した者の氏名

教育部長	千 石 剛
教育総務課長兼給食係長	伊 藤 勝
学校教育課長	安 富 重 則
こども未来課長	丸 山 常 基
教育委員会課長(未来型児童館担当)	
	井 上 英 文
生涯学習課長兼市史文化財係長	北 島 悦 乃
総合教育センター所長	工 藤 憲 人
図書館長	伊 藤 陽 子
教育総務課長補佐兼総務係長	松 田 ちあき

地方教育行政組織及び運営に関する法律第14条第3項に定める定足数に達していることを確認し、議事に移りました。

- 6 付議事項

議案第27号 加西市文化財審議委員の委嘱について

- 7 議題となった動議を提出した者の氏名

なし

- 8 質問及び討議の内容

議案第 27 号 加西市文化財審議委員の委嘱について

(生涯学習課長の説明) 文化財保護に関する条例第 18 条の規定により、文化財審議委員に次の者を委嘱したいので、委員会の議決を求めます。このたびの委嘱は任期満了に伴うものです。委員名簿は別紙のとおりです。任期は令和 4 年 10 月 1 日から令和 6 年 9 月 30 日です。

9 議決事項

議案第 27 号 加西市文化財審議委員の委嘱について

原案どおり可決

10 報告事項

教育長

前回 9 月 22 日の定例委員会以後について報告します。

翌日 9 月 23 日には小学校の運動会が行われました。教育委員の皆さんも、お忙しい中それぞれ地域の小学校に出向いていただき感謝しています。午前中の開催になりましたが、子どもたちが精いっぱい頑張っている姿に私もエネルギーをもらいました。そして、今回は保護者の皆さんにも去年より多数の方に見ただけで、本当に良かったと実感したところです。

9 月 26 日には第 9 回加西市未来の学校構想検討委員会があり、答申が市長に提出されました。未来の学校構想検討委員会は、昨年秋に立ち上げられ、1 年をかけて本当に活発に議論を重ねていただきました。その結果、当初の目標どおり 9 月末にまとめた答申書を市長に提出できたことは、大変良かったと思っています。先週末には、2 回目の市民のワークショップが行われ、市民の様々な意見が交換されたと聞いています。事務局の皆さんも本当にお疲れさまでした。ワークショップはまだもう 1 回あるので、もうちょっと頑張ってください。これから答申案に伴い、新制中学校にどのような機能を持たせるのか、どこに建設するかということも含め、課題は山積しているわけですが、教育委員会として一応の方向性を指し示すことができたのではないかと考えており、実は少しだけ今ほっとしているところです。感謝を伝えたいと思います。

9 月 27 日には、北条ロータリークラブにて加西市の教育方針や現状についてのテーマで講演を行うため行ってきました。実は、ロータリークラブは月 1 回ではなく、毎週ランチミーティングを続けていらっしゃるということに大変驚き、すごいと思いま

した。そこに集まるメンバーである加西市のオピニオンリーダーの方々に、加西市の教育ビジョンや小中学校の再編についてきちんとお話をさせていただきました。こうした機会を頂いたことは大変ありがたく思っています。

9月28日は9月議会最終日でした。

9月29日には定例校長会が行われました。

そして、9月30日には、退職者辞令交付式が行われました。例年とは違い、今年は10月新規採用の職員がおり、教育委員会でもこの日に退職者を一人見送りました。その後、まち・ひと・しごと創生推進本部会議に出席をしました。これは少し教育委員会の手前みそかもしれないですが、元図書館長で、現きてみて住んで課長の藤川さんが、STEAMを中核にしたまちづくりビジョンを発表していました。身びいきではなく本当に大変良くできたプレゼンだと思いました。それをどうこれから現実的に落とし込んでいくかというのはいろいろあると思うし、ある意味で少し抽象的ではあったが、ただ現実の問題を一つ一つ塞いでいだけという考え方ではない、ビジョンをきちんと提案されていたので、大変良かったと思います。

その後、さわやか市民賞の授与が行われました。加西特別支援学校中3の富永雄大君が「働く姿」がテーマの絵画コンテストで、厚生労働大臣賞を受賞されました。散髪屋さんの鏡に映った姿を非常に効果的に使っており、私も前職では美術の仕事を結構していたので、印象派の父といわれるマネの描き方に何かよく似ているようすばらしいと思いました。色彩感覚もすごく良かったです。その富永雄大君がさわやか市民賞を受賞されました。

10月1日には加藤登紀子さんのコンサートが行われました。お歳はもう79歳になれるかと思います。30代の人などに聞くと、「名前も知らない」「それ誰」と言われて私はショックを受けましたが、会場は40代から70代の方が多く、ほぼいっぱいでした。そこでは、歌というのは歌うだけではないのだと深く感じました。加藤さんの存在感というかご自身の生き方というものは、聴衆が自分に置き換えたとき、記憶や感情を揺さぶる、そういう深く強いものがありました。実は、一番新しい曲だと思いましたが、「声をあげて泣いていいですか」という曲を聞いて、私は思わず泣いてしまいました。そういうふうに人の気持ちの奥深くを揺さぶる力をお持ちなのだと思います。良かったです。

10月3日には辞令交付式が行われ、お気づきかと思いますが10月新採用で女性職員一人が教育総務課に配属になりました。入れ替わりで女性職員一人が教育総務課からこども未来課に異動しました。二人とも不慣れな点もあるかと思いますが、温かく見守って育てていただければとお願いいたします。また、同日には第2回公民館・オークタウン加西のあり方検討委員会も開かれました。私はこの会議が地域の意見を有機的に生かしていくための提案をまとめる委員会であってほしいと願っていますので、またご意見があればどんどん出していただくようお願いします。

10月4日には北播磨書道教育研究会が西在田小学校で開催されました。北播磨の広い地域の各学校から担当の先生方が西在田に集まれ、実際に書道教育を視察されました。私は、まだ書道教育研究会というのがきちんとあるのだということにとっても強い印象を受け、大変うれしかったです。STEAM教育ということでサイエンスやテクノロジー、マセマティックスなど理工系に大変力を入れている印象があるかと思うが、その一方、同時に筆を持って文字を書くという文化はやはり日本文化の基本だと思っています。それが継承されていくよう、その場ではその思いをより強くしました。

10月6日は子ども・子育て会議が行われました。この会議はいつも大変活発に意見が交換される場です。今年度で昨年度と少し違うのは、キャリアと実力のある愛の光こども園園長宮崎さんに会長をお願いしたことです。教育委員会の持つ社会教育委員会と子ども・子育て会議の両方とも、女性会長に就いていただくこととなります。女性でなければ駄目ということではないのですが、できる限り新しい風を吹かせたいというふうに思っています。どうかよろしく願いいたします。

10月7日にもさわやか市民賞授賞式が行われ、北条小学校6年生大西一輝君と同小5年生竹本悠里さんが絵画部門でさわやか市民賞を授与されました。加西市の美術教育はなかなか優れていると実感しています。

10月13日近畿都市教育長協議会研究協議会が奈良で行われました。テーマは『「生きる力」を育み、未来を拓く豊かな学びの創造』というものでした。これには近畿各市、滋賀や和歌山も含めたくさんの教育長が集われました。その中で兵庫県ということもあるのだけれど、特に南あわじ市教育長が淡路の人形浄瑠璃の保存と伝承を交えた『「生きる力」を育み、未来を拓く豊かな学びの創造』という事例発表をされ、心に残りました。

10月17日には竹本和彦特別顧問が訪庁されました。皆さんもご存じかと思うが、特別顧問竹本さんは北条高校のご出身で、環境省で活躍をされた方です。その間、世界銀行、それから国際応用システム分析研究所——これはシステム分析の応用により、人間による環境への影響を少しでも減らし、そのことでSDGs、つまり持続可能な開発目標の達成を支援しようとする国際組織だと聞いています。世界銀行は本部をワシントンDCに置き、後者の本部はウィーンにあります。そのようにして環境省にお入りになって、若いときから世界各地でいろいろな仕事をなさってきた加西出身の国際派のお一人です。

私は東京にいるときから竹本さんを存じ上げており、2019年まで東京青山にある国連大学サステイナビリティ高等研究所の所長をなさっておられたと思います。その当時はSDGsというものはこれから広まっていくような、そうでないような微妙な時期であったし、この方が何十年も前に環境という分野を選ばれたということから、とても先見性のある方だと私は以前から思っていました。今回、お越しになっていろいろと新しい情報交換をさせていただき、加西市がSDGs未来都市に任命されたことについて、

いろいろなアドバイスやご尽力をいただいたということもあり、大変喜んでいただきました。

10月18日に富山市教育委員会の十数名が九会小学校を訪問されました。小学校における兵庫型教科担任制の自治体を視察したいということで加西にお見えになったのです。加西市から視察に行くということはよく耳にしていたのですが、加西市の教育を見たいと言って実際に視察していただけるというのは、大変名誉なことだと私は思っています。やはり現場が頑張っているからこそ、そういうふうになっているのだろうと思います。

そのとき歓迎のご挨拶をしましたが、その後、下新川郡朝日町の教育長がわざわざ私のそばにいらして、私が挨拶で言及していたので、「実はうちでもSTEAM教育を始めたいと今研究しているんですよ。どういうふうになさっているかまた教えていただきたい」というようなことをおっしゃいました。STEAMについては、結構ほかのところでも聞くようになってきました。STEAM教育は多分これからどんどん広がっていくのだろうという予感がしています。

次もSTEAM教育の話になりますが、10月21日にSTEAM研修講座が泉小学校で開かれました。公立小学校教師歴3年という大変若い小泉先生が講師で来てくださり、泉小学校5年生の社会の授業をしてくださいました。また、その日だけでなく、その前から何回も子どもたちと一緒に授業をしてくださったそうです。たしか小泉先生は東京学芸大学大学院で、全国の学校を回って新しい授業の在り方を研究なさったとも聞いています。

私もずっと参加して見させていただいたところ、この研修に自由参加された加西市の先生方は30代を中心として40代も20代も少しいらしていたのかもしれないが、大変前向きな先生方とお見受けしました。何が前向きな先生かと言えば、いろいろな問題にぶち当たり小泉先生の話で問題提起をされると、皆さんそれを一旦、自分に返して自分の考え方ややり方は良かったのだろうかということをきちんと見直しした上で発言なさっていました。大変すばらしいなと思いました。こうして少しずつ児童を中心に置くSTEAM教育というものが、しみ渡ってくれる予感のする大変良い研修でした。この研修を企画してくれた総合教育センターに感謝を述べたいと思いました。

それから、10月22、23日には南部公民館まつりが行われました。公民館まつりは2年間行えなかったもので、皆様は大変活発で楽しそうにイベントをされていました。やはりこうして地域の皆さんでつながっているということが本当に大事だと実感しました。今、公民館のあり方検討委員会を開いています。やはり公民館は有機的に置いていかなければならないと実感した公民館まつりでした。できれば教育委員の皆様も、他地区ものぞいてあげていただきたいです。

教育部長

教育長も触れられた教育委員会事務局職員の人事異動についてご報告します。10月1日に首長部局と共に人事異動が行われ、新規採用6名という枠で新たに職員を迎えました。教育委員会におきましては、教育総務課で新入職員の入と既存職員の出、そしてこども未来課では既存職員の入という異動が行われています。併せて、9月30日に校務員職員1名が退職しました。人事異動に伴い、非正規の会計年度任用職員の人事異動も行われており、生涯学習課で会計年度任用職員1名の入替えがされています。

教育総務課長兼給食係長

未来の学校構想検討委員会の答申についてご報告させていただきます。加西市未来の学校構想検討委員会では、9月26日に市民会館で市長に答申書を提出しました。内容については割愛させていただきますが、答申書では、中学校は三つの学校を統合して、新しい中学校と北条中学校にするのに対し、小学校は全小学校を維持するとしております。昨年から研究会も開催して、少子化を踏まえた教育環境の整備に向け、保護者、住民、教職員のアンケートや視察も行ってきました。これから加西市では答申書を受けて10月から3回ワークショップを開催し、広く市民から意見を聞き方針決定に反映していく予定です。

学校教育課長

まず、各学校の教育活動についてご報告します。コロナ関連の状況については、随分と感染者の報告が減ってきていますが、1中学校の1学級で学級閉鎖を2日間行いました。そして、いよいよ明日から小学校が修学旅行に行きます。先ほど最終確認をしており、どの学校も行ける状況にあると聞いていますので、無事終わることを祈っているところです。また、10月に入り各校でオープンスクールがスタートしています。感染対策はしながらも合唱祭、音楽会、学習発表会などその他の学校行事や学習活動を実施していくよう、また大方コロナ前に近い開催をとということで、学校のほうでは工夫しながらしようと計画してくれているところです。

次に、令和4年度全国学力・学習状況調査結果の分析と考察が完了しましたので、「かさい教育ねっと・特集号」としてまとめたものをご報告します。今年の全国学力・学習状況調査は4月19日に国語、算数または数学、理科で実施されました。学力については、小中学校ともに全国の平均正答率と大きく変わりませんでした。数年前までは中学校の平均正答率が高かったことを踏まえると、各校の分析を踏まえこの辺りで改善を図る必要を感じているところです。各学校からの取組や結果を踏まえた保護者周知の内容については、教頭会等で情報交換をしたいと考えています。リーフレットには各教科の定着傾向が見られた問題例、それとは反対に課題の見られた問題例を挙げています。具体的な設問を明記することで、児童生徒はもちろん保護者にもお子さんの得手不得手のある設問に対するイメージを持ってもらいやすくし、教職員が

これを活用して実際に授業や指導の改善を図ることを狙いとしています。

続いて、加西っ子の生活習慣や学習習慣についても、児童生徒質問紙の結果から特徴的なものを経年比較して掲載しています。令和4年度のピンク色で塗られたところは経年比較の中で今年度最高値を示したものです。小学校では、「算数の勉強は大切だ」や「読書は好きだ」と答えた項目で最高値を示しました。中学校では、「先生はあなたのいいところを認めてくれる」や「数学の勉強は大切である」という答えが過去最高でした。生活習慣や学習習慣と学力との相関関係を分析したグラフも載せており、「新しいものを創る力」「挑戦する力」「学習に対する気持ち」「家庭での計画的学習」などの項目の数値が高い児童生徒ほど、学力が高いということが明らかになっています。

このような現状を踏まえ、単に学力調査で図れる学力の一部向上を図るだけではなく、ご存じのとおり加西市では加西 STEAM を手段とした次世代型人材の育成を目指しているため、この点についてもリーフレットでは児童生徒や保護者に対して明示をしています。紙面に限りはあるものの、教育総務課を中心に今進めてもらっている STEAM ラボ整備のイメージや市立図書館との連携強化について説明しています。このリーフレットを基にしてさらに家庭で子どもたちの学力向上について話題にいただき、夢や情報を膨らませるための備えとして活用していただきたいという事務局の願いを掲載しています。

教育委員からの意見

- ・教育活動に関係あるかは分かりませんが、おとといと昨日に行われたじば産物産展で、加西特別支援学校の子どもたちが自分たちの作った物を販売しており、接客やレジ対応など一生懸命やってくれている姿を見て本当に感激しました。ああいう機会をどんどん作られたらいいと思います。今まではコロナがあり心配でなかなかできなかったけれども、今回は実施できて良かったと思います。感謝をお伝えします。
- ・「かさい教育ねっと」は本当に見やすく、瓦版でいろいろなグラフも含めながら分かりやすい書き方をさせていただいていることに感謝します。また、裏面には加西 STEAM の次世代型人材ということで、今後の STEAM ラボなどもここで紹介していただいております。皆さんに知っていただけるいい機会になると思いました。本当にありがとうございました。

こども未来課長

本年度の子ども・子育て会議委員について報告します。委員名簿は別紙資料を参照ください。前任の日ノ本短期大学、勝木先生が退任されたため、10月1日より同大学

の津田由加子先生を後任として補充させていただきます。

次に、令和5年度学童保育園入園申請について報告します。来年度の学童保育の入園申込みは11月10日から25日の予定で受付を行います。申込書は10月17日から配布しています。全部で11施設にて来年度も実施する予定です。また、泉学童については、本年度中の完成予定でしたが、少し遅れて来年度6月末になる予定で、7月夏休みから入れるよう進めているところです。

それから、こども園の入園申込状況について報告します。現在、10月28日まで入園申込受付をしているところですので、速報値が出たら来月報告させていただきます。

また、先月の定例教育委員会で教育委員より10月1日からの無償化による入園状況についてお尋ねがありましたが、はっきりとお答えできなかったのが今回、確定値を報告させていただきます。10月の入園申込みは57名で、そのうち27名が新規申込者でした。そして、30名は入園決定をしており、ほか27名が当初保留でしたが、その中の3名が辞退をされて、最終的に24名が保留です。ただ、そのうち10月までの入所希望者は14名、入所月が未到来の方は10名なので、10月の入所希望で保留となったのは14名です。入所月未到来の希望者も含めると、全体では24名が保留です。

教育委員からの意見や質問とこども未来課長の回答

- ・新しい泉学童の工事はまだ始まっていないと思うのですが、どこに新しくできるのですか。古いところはそのままになっていますが、そこを壊してから同じところに建てるのですか。

(回答) 今の旧幼稚園舎を解体して南向きに建てる予定です。今の場所のほぼ遊戯室を除いた大きさに建つ感じですか。

- ・旧園舎はいつ壊されるのですか。

(教育委員会課長(未来型児童館担当)の回答) 今週末に解体業者決定のための入札があります。決まった段階から工事にかかりますが、多分最初は準備工から始まるので、年内には工事着手はしますが、解体全部が年内にできるかは少し分らないです。年をまたいでの解体工事になると思います。

- ・今、泉学童は小学校で仮の学童ということですが、1階なのですか。

(回答) 1階の下駄箱の隣に図書コーナーがあると思いますが、その奥の一つを借りてしています。

- ・日吉学童も仮の小学校内だったと思いますが、そこはどうするのですか。

(回答) 学童保育園は本来学校の空き教室を活用して行うことになっていますので、

日吉は仮という認識はしていません。

- ・日吉学童はそのままそこで続けられるのですか。新しくは建てないのですか。

(回答) 日吉はそのまま建てての予定はないです。

- ・今、10月時点で57名の申込みがあり、決定30名、あとの27名がいわゆる保留状態になっているとご説明がありましたが、今後保留となっている27名の方に対してどのようなことを考えておられるのでしょうか。分かる範囲で教えていただきたいです。

(回答) 今の課題は保育士の確保です。前定例委員会で教育委員さんから提案もいただいたように、保育士の確保対策を12月補正予算に計上していきたいと考えています。保育士の確保というところが一番喫緊の課題になっています。

- ・応募されるまでは分からないのですが、大体、市として当初どれぐらいの申込人数を想定されていたのですか。

(回答) 年度途中については40名枠程度確保していくというところですが、2回目は100名枠を増やしていくと言っています。40名枠については、今30名入っています。あと保育士の確保をしていくことと、来年度に小規模保育園の2園を開園させるので、そこで40名枠程度を対応していくよう考えています。その2園については、北条がやはり一番若い人の人口密度が高いということで北条に1園。それから、南部の保護者さんもおられるので、南部の方は北条に行ってこどもを預けて、また南部に仕事に行くというわけにもいかないの、加西こども園のある中野地区のあたりにもう1園というふうに考えています。

- ・加西市は10月1日からゼロ歳児からの保育料無償化になったという旗を上げており、これは本当に画期的でいいことだと思います。ただそれを言っても園に入れない、まだ保留状態で駄目だということになると、結局はせっかくのいい施策が一つダウンということになってしまうかもしれません。それで、できるだけ保育士の確保や場所の確保等でご検討していただきたいと思います。よろしくお願いします。

(回答) 待機については、要は希望する園に入れないということが直ちに待機となるわけではありません。加西市全体としての枠はあるけれども、ただ希望する特定の園に入れないというのは、保留というふうに考えています。

- ・では、この10名が保留であるということによろしいのでしょうか。

(回答) 要は地理的な問題があり、全てがかなうということにはならないです。結果的に全国でそういうことが話題になっていますが、中心部に集中し過ぎて周辺部は

空いているとか、そういうことが課題になっています。

- ・最初に保留は27名と言われたと思いますが、それは違うのでしょうか。

(回答) 最初の保留は27名でそのうち3名が辞退されたので、保留は24名。そのうち入所月が到来している方が14名、例えば12月や1月から入所を希望されている方が10名おられるということです。

- ・ここで言うことかどうかわからないのですが、先日保育士の養成をされている大学の先生と話をしていて、「とにかく頼むから加西市に学生を来させてよ」と言ったところ、「うちは学生が足りない」と言われました。保育士になりたいという学生自体が減っていることが問題なのかとすごく思いました。それで、どこでも保育士の取り合いになっているというか、本当に少しでも条件を上げて、それでも来てくれるかわからないというような慢性的に保育士が足りない状態が続いているのだと思います。もっともっと高校生や学生からいい職業だと思われるような業種にしていけないと、お互いに難しい問題かなと感じたところです。

(回答) 国も処遇改善を進めていますが、まだまだ報酬面では少し低いかないところがあります。また、地方の養成学校は生徒が不足していますが、都市部では充足しています。前回は説明したと思いますが、阪神間では家賃やアパート補助、定着一時金、奨学金の補助、保育士の子どもの優遇入所等の多々の優遇措置があるため、やはりそちらに保育士が流れがちなのです。我々もそれと同じぐらいの支援をしていかないと保育士の確保ができないので、今後取り組みたいと思っています。

(教育部長の回答) まさに教育委員会のご指摘のとおりなので、公立こども園においても包括連携協定を結んでいる日ノ本学園の大学生を実習や職場体験、インターンとして受け入れています。そうすることで少しでも加西市の職業環境を見てもらってここで働きたいと思ってもらえるようにという取組として行っています。また、播磨農業高校にも、幼児教育学科に将来進みたいという生徒さんもおられるようで、職業体験として公立園にその生徒さんを受け入れています。ご指摘のようにそこら辺でも保育士を目指す高校生や大学生とのアクセスをしっかりと確保しながら、将来そういう方が増え、加西市への就職につながっていければと考えています。

- ・今の保育士さんは何が一番不安だと、その辺で加西市には行けないなと思われるのでしょうか。これだけ保育士確保が難しいということなら、何を不安に感じるのか、どんな不満を持っているのかを例えばアンケートを取って、原因という言い方は悪いかもかもしれませんが、それを突き止めた上で見合った対策をしたらいいのではないのでしょうか。当然、お金や報酬と思われるのなら難しいかもしれないですが、保育士が何に不満を持っているのかというのが見えてこない。不満が分から

ないのにいろいろ対策をしても効率はよくないのではないかと思います。何が不安なのか。そのナンバーワンは何かというのは分からないのでしょうか。

(回答) 私なりに思うところではありますが、実際聞いてみないと分からないです。

- ・一度調査してみたらいいのではないですか。そこから何か見えてくるものが出てくると思います。やはりこうだと思ふからこうするというのでは少し対策にならないのではないかと思います。その辺はネットで調べたりして、保育士さんにきちんと調査してもらったら、おのずと何かのデータが出てくるのではないかと思います。

(教育長の回答) なるべく保育士さんたちの本音のようなものを伺えるような、それも年代別にどういうものがあるかを受け止めることが大事とおっしゃっていると思います。それをきちんと分析して解決していくことが大事だと思います。

- ・学校教育課の小中学校のあり方についても、分かりやすく膨大なデータを見て分析できました。地方都市の保育士さんのデータは必須だと思うので、よろしく願っています。

教育委員会課長（未来型児童館担当）

加西市未来型児童館整備基本構想策定業務の進捗状況について報告させていただきます。

進捗状況は以下のとおりです。現在 10 月末をめどに、子どもや家庭を取り巻く状況と課題についてということで、これまで各種計画策定時に市で行ったアンケートを参考にして、未来型児童館のあるべき姿の整備、また全国各地で整備された類似施設の資料収集を行い、どのような機能を有しているか、またどのような補助制度を用いたのかなどの情報収集作業を行っています。まだまとまっていないため、本日教育委員の皆さんに説明できる資料はないのですが、次回の定例教育委員会では取りまとめた上で説明させていただきたいと思っています。

今後の予定としては、未来型児童館にどのような機能が必要なのか、どのような設備を整備する必要があるかなどの意向を把握、整理するため、3回のワークショップを実施します。第1回目は0から18歳の子どものいる保護者を対象とし、子育てに当たって感じている課題や未来型児童館に対する役割や機能について話し合います。第2回目は中高生を対象とし、遊びや学習に関してほしい支援、未来型児童館に期待する機能や空間について話し合います。第3回目は過去2回で話し合った内容を踏まえ、再度0から18歳の子どものいる保護者を対象とし、大人と子どもの考える機能のギャップを埋めつつ、未来型児童館の役割や機能について話し合う予定です。

そして、まだ行き先や日程は未定ですが、12月頃に未来型児童館の参考施設の視察を予定しています。そのほか庁内検討委員会や子ども・子育て会議等にも諮りながら

施設整備の基本的な考え方を整備し、最終的に来年3月までに加西市未来型児童館の建設予定地、及び子育て環境として必要な機能について取りまとめることにしています。

総合教育センター所長

まず、令和4年度「いじめ防止運動」持ち回り作品展について報告します。いじめの未然防止を目的とした標語やポスターを作成することで、児童生徒がいじめについて正しく理解し、いじめを防止しようとする意識の向上のために行われたものです。今年度から募集対象を変更し、小学6年と中学2年には標語を、小学5年と中学1、3年生にはポスターを募集しました。応募総数は748点で、うち標語が567点、ポスターは181点でした。審査会を経て、学年ごとに最優秀賞1点、優秀賞2点、佳作5点を選びました。前定例教育委員会でも報告のとおり、9月22日から10月4日までアスティアかさいで入賞作品展を行い、次に10月11日から市内全小中特別支援学校16校において1週間ずつ持ち回り作品展を実施しています。なお受賞作品については別紙のとおりです。

次に、令和4年度土曜チャレンジ学習についての中間報告をさせていただきます。これは土曜日の子どもたちの受け皿として、より豊かで有意義な土曜日を過ごす環境を提供するため、地域と学校の連携・協働体制推進事業として平成26年度から実施しているものです。令和4年度は北条小、北条東小、下里小、富合小、九会小、泉小の6校において、ふるさと創造会議、PTA、子ども会、公民館、陸上競技協会などが支援団体となり計画・実施をしています。活動内容はスポーツ活動、文化活動、郷土愛を育てる活動、料理、創作、農業といった体験活動をそれぞれ工夫して行っています。今年度は感染状況を考慮し、1校区は中止の判断をされました。また、実施された校区でも実施に関しての調整や感染防止の運営工夫など大変ご苦勞をされています。現段階では全体の約6割の活動を終え、参加者は延べ530名になっています。これからも学校教育と社会教育が両輪となり、心豊かでふるさとを愛する加西っ子を育てていきたいと考えています。

教育委員からの意見

- ・私も九会小の土曜チャレンジには少し関わっています。もともとこの土曜日は調理教室の予定で、植えたサツマイモは全部イノシシにやられてしまったので、持ち寄りになるかもしれません。去年は調理をしましたが一緒に食べられなくて家に持って帰りました。今年はみんなで食べるかどうか最終決定はまだしていませんが、そういう体験や今度11月には気球の搭乗体験も考えてくれています。自分たちや学校だけではできない体験をたくさんしてもらえるようにということで、子どもたち

も本当に生き生きと参加してくれていますので、今までどおり続けていきたいと思っています。

図書館長

絵本作家による絵本ライブ&ワークショップについて報告します。加西市立図書館がアステリアかさいに移転して今年で20周年となります。そのことを記念し人気絵本作家 tupera tupera の亀山達矢さんをお招きし、ワークショップと絵本ライブを実施します。この事業は宝くじの社会貢献広報事業として、財団法人自治総合センターによる助成金を受けて実施するものです。

イベント内容については、一つ目に「きみだけの気球をつくろう！」をテーマに、12月3日土曜日13時30分からワークショップを行います。場所はアステリアかさい3階集会室。加西市民限定で15組30名の定員、応募多数の場合は抽選を行います。二つ目はトークを交えた読み聞かせの絵本ライブで、12月4日日曜日10時半からと14時からの2回実施します。場所はアステリアかさい3階多目的ホール。各回定員は90人で、応募多数の場合は加西市民優先で抽選を行います。両イベントともに受付期間は10月23日から11月6日。ウェブまたはQRコードにて申し込んでいただき、抽選結果をはがきで送付します。

生涯学習課長兼市史文化財係長

1点目は、第56回加西市盆栽展について報告します。今年度は10月28日金曜から30日の日曜日の3日間、アステリアかさい3階の地域交流センターにおいて開催します。時間は9時から17時までで、最終日のみ16時までです。加西市盆栽研究会が中心となり、会員の方が丹精を込めて育ててこられた作品が展示されます。また、今年度も中央公民館で実施した親子盆栽教室の参加者10組の親子の作品も、出品される予定になっているので、お忙しい中ではありますが、ぜひ皆さんにもご覧いただきたいと思えます。よろしくお願ひします。

続いて、2点目はふれあい伝統芸能フェスティバルについて報告します。コロナウイルス感染症の感染拡大のため、令和2年度、3年度と中止となっていました。今年度は3年ぶりに開催することになりました。11月23日祝日10時から12時の予定で、播磨農高祭と同時開催をします。地域社会に育まれてきた伝統芸能を伝承し、心豊かな地域社会の構築を根底として実施している事業です。出演演目は播磨農高の郷土伝統文化継承クラブによる播州歌舞伎と加西市内で伝承活動に熱心に取り組まれている各芸能団体、播州加西あばれ太鼓愛好会、ひまわりっ子クラブ、播州伊勢音頭振興会、加西銭太鼓会、いずみ子供太鼓さんなどの皆さんが出演して下さいます。STEAMフェスティバルと同日にはなりますが、こちらは午前中の開催となるため、ぜひ足をお運びいただきたいと思えます。よろしくお願ひします。

1 1 協議事項

なし

1 2 教育委員の提案

なし

1 3 今後の予定について

- ・令和4年第11回定例教育委員会 11月16日(水) 14:00～5F大会議室
- ・令和4年第12回定例教育委員会 12月19日(月) 14:00～5F大会議室

1 4 その他

- ・ささいなことですが、運動会に参加した後、どこかの小中学校からお礼の封書を頂きました。皆さんの思いは重々分かっているけれども、学校はどこも忙しくて大変なので、お礼の風習は省いていただけたらと思います。いかがでしょうか。

(回答) 実は議会のほうからも、数年前に同じような申出を頂いており、それを機会に市長、教育長、教育委員の皆さんにも、控えさせていただくということは私からこの席上で言っていますが、学校管理職のほうも昨年度大幅に変わったり、通常に戻った環境があったりして丁寧に出してくれているようです。申し訳ないのですが、教頭会の席上で議会からも、教育委員さんからもそうしたお言葉を頂いていることを伝えて、来年度は業務改善ということも含めて配布させていただきます。ご意見に感謝します。

- ・申し訳ないと思うのはこちらのほうで、お気持ちは重々分かっていますので、もう控えていただいたほうが良いと思います。

(教育長の回答) なるべく省けるところは省いていきたいと思っています。

- ・教育長も報告で言われた南部公民館まつりに私も昨日少しだけ参加させていただきました。たしかコロナの関係で2年ぶりだとおっしゃっていたと思います。皆さんにとっては日頃習われている自分の趣味をあのように集まりの中で発表されると、それも目標になると思います。一方、実際に席に座って見ている側にとっては、「ああいうのなら習ってもいいかな」と思えて、そういう発表の場でありながら一つのPRにもなるのだと思いました。本当に楽しく見させていただきました。まだこの後、北部や善防も行われるので、楽しみにまた参加させていただきたいと思っています。昨日の公民館まつりには本当に感謝しています。

(教育長の回答) 私が言うのもなんですが、私も見せていただいて思ったのは、これ

から 360 度カメラなどの新しい機器が公民館に入るので、最初からきちんと調整しておいて、オンラインでいろいろなところから見られるという方法がとれたら、なかなか効果的だなということです。もっと PR もして「初心者でもできるのだったら、もう一回やろうかな」と思われるような、リカレントにもつながります。そうやって地域の人たちがつながっていければ大変いいことだと思います。

- ・今、文化審議会に住吉神社を中央の国の重要文化財に指定するよという答申があり、多分委員会もされるのではないかと思います。そうなった場合、この貴重な財産をもっと PR してほしいです。加西市には古い歴史がたくさんあるので、ほかにも工夫をしていろいろな人に見てもらいたいです。去年も住吉神社拝殿にある絵馬について説明していただいたように、住吉神社だけではなく周辺各地に貴重なものがたくさんあるので、これをきっかけとして皆さんに来て知っていただけるよう PR 活動等をよろしくお願いします。

(回答) こちらでも広報させていただきますし、決まれば PR 活動を進めて地域で誇りと思ってもらえるような何かを進めていきたいと思っています。ご意見に感謝します。

この会議録は、事務局員が作成したものであるが、真正であることを認め、ここに署名する。

令和4年10月24日

出席者

(出席者署名)